

令和6年度 東京都立野津田高等学校 学校経営計画

令和6年4月1日

目指す学校像		東京都立野津田高等学校 教育活動の指針(スクール・ミッション及び3つのスクール・ポリシー)を踏まえ「未見の我の発見・人権尊重・自主自律」を育み、何事にも主体的に取り組む生徒の育成に努めるとともに、社会の変化に的確に対応した学校改革を積極的に進め、生徒の自らの可能性を切り拓く進路実現を勝ち取る支援を学校全体として計画的に行う。						
中期的な課題	目標	1分かる、考える授業実践と授業改善	2社会人としての規範意識と社会性の醸成	3キャリア教育の充実による希望進路の実現	4野津田高校への帰属・貢献意識の高揚	5生徒が安全・安心に学校生活を過ごせる高校	6地域・保護者等との連携と広報活動の推進	7より良くしていこうとする「組織風土」づくり
	方策	①生徒が分かったと実感する授業。②自学自習に繋げる考える授業。③デジタルコンテンツ教材の開発と蓄積。④授業評価に基づく授業改善。⑤授業改善プロジェクト推進。	①人権尊重を基本とした規範意識の育成。②挨拶をはじめ、社会人としての立ち居振る舞い。③教員と生徒が互いに尊重し合い「理解・納得・責任」に基づいた丁寧な生活指導。	①進路指導計画に基づいたキャリア教育の実践。②関係機関・地域と連携したキャリア教育の実践。③スキルアップによる成功体験と自信の高揚。	①学校行事や部活動など、感動体験による意識の高揚。②生徒の自主性を重んじ、生徒の活躍の場の創設。③防災訓練・地域行事など、地域と連携した意識の高揚。	①自主自律の生活態度の育成。②いじめや体罰のない校風づくり。③ボランティア精神の育成。④心のSO Sを見逃さない教育相談を推進。⑤施設設備の安全点検・修繕・整備。	①保護者等への情報発信の強化。②広報活動の充実・改善。③外部からの声に耳を傾けた学校運営。④学校開放事業など、地域に開かれた学校づくり。	①教育活動の改善のための研修の充実②法規法令の遵守③経営企画室と連携し、組織的で業務効率良い体制づくり④ライフ・ワーク・バランスを踏まえた働き方改革を推進
項 目		今年度の取組目標と方策 (1)教育活動の目標と方策			(2)重点目標と方策		(3)数値目標〔昨年度実績〕	
Ⅰ 学習指導	目標	生徒が「参加する・分かる・考える授業」の理念のもと、日常の授業を改善するとともに、生徒の主体的な学習意欲の向上			基礎・基本を重視し、日々の授業が大切だと感じる生徒を育成		・学習指導に対する生徒の肯定的意見 75%以上[70%] ・生徒間の対話的授業実施85%以上[81%] ・授業内でのICT機器等活用95%以上[92%] ・補習や補講の実施5回/人[新規] ・デジタルコンテンツ制作推進[新規] ・オンライン英会話事業推進[新規]	
	方策	1 教科ごとの計画的で主体的な身に付ける能力と学習態度を育成 2 生徒のスキルアップに向けた組織的な補習等を実施し、自学自習を支援 3 ICT及びBYOD等の活用し、一人1台端末を踏まえた学習活動を促進 4 国際交流事業の組織化と教科等の学習活動との関連の明確化			①教科の魅力と学ぶ姿勢を植えつける「考える・分かる」授業改善 ②各教科の育成する能力と年間授業計画の活用と検証 ③教材のデジタルコンテンツの蓄積と活用による自学自習の育成 ④ネイティブの会話を通して、国際理解の深化と国際協調の理解			
Ⅱ 生活指導	目標	全教員による基本的生活習慣の確立と心身の健康の向上			自主自律の心を育み、主体的に行動する生徒を育成		・ヘルメット着用50%(生徒意識50%)[7%] ・美化に対する意識向上90%以上[88%] ・生徒会を中心に校則見直し等の活動年4回[新規] ・生徒の校則の遵守95%以上[90%] ・生徒の言葉遣いに対する意識や礼儀の遵守95%以上[90%]	
	方策	1 人権尊重を基本とし、規範意識の育成を図り、社会的自立を促す教育を推進 2 全校体制で礼儀作法、授業規律及び校内清掃を指導し、自律する生徒を育成 3 服務事故の根絶やいじめの未然防止・早期発見・早期対応と情報共有 4 教員と生徒が尊重し合い「理解・納得・責任」に基づいた丁寧な生活指導			①全教職員体制で一貫した生活指導と校則の見直し体制の構築 ②普段から挨拶や身嗜み、社会人の心構えの向上 ③特別指導に発展させない、生徒に寄り添う丁寧な生活指導 ④生徒の部活動・学校行事への主体的な参加			
Ⅲ 進路指導	目標	キャリア教育の充実させた生徒が希望する進路の実現			キャリア教育を推進し、進路希望を具体化させた進路決定率を維持・向上		・進路指導に対する生徒の肯定的意見の割合75%以上[63%] ・各種検定の受検者150名以上〔受検者127名〕 ・進路決定率92%以上[87%] ・進路未定率8%以下[13%]	
	方策	1 3年間を見通した「進路の手引き」の活用 2 スキルアップ推進事業を活用し、各種検定に挑戦する心と資格の取得 3 関係機関と連携を密にし、生徒の現状を的確に把握した粘り強い進路指導 4 進路行事を通して、主体的な進路選択・決定できる能力、態度の育成			①1年次より「進路の手引き」活用し、実感する進路意識向上 ②検定試験の受検を奨励し、自己のスキルアップへの意欲の向上 ③進路ガイダンスや説明会等、教科横断的なキャリア教育の充実 ④個人、三者面談による進路情報の整理と高い希望進路の実現			
Ⅳ 特別活動	目標	学校行事、生徒会活動、部活動等の特別活動の活性化			感動体験による帰属意識や貢献意識の高揚させ、地域連携を通した社会貢献		・部活動加入率60%以上[46%] ・クラスや部活動での良い友好関係が築けた割合 80%以上[75%] ・部活動や学校行事に対する生徒の肯定的意見の割合 75%以上[71%] ・地域に関わる行事等への貢献活動推進[新規]	
	方策	1 学校行事、生徒会活動等の生徒よる主体的な運営と主権者教育の活性化 2 生徒が主体となって活動していく機会を増やし、健全な社会性の育成 3 在校生・卒業生と連携した50周年記念式典の開催 4 地域清掃や地域貢献活動を推進し、地域から信頼される学校に発展			①社会の人材等の教育制度を活用し、生徒の知識や技術の充実 ②生徒が主体となる機会を増やし、健全な社会性の育成 ③地域清掃や行事、貢献活動を推進し、信頼される学校に発展 ④在校生・卒業生の思い出に残る創立50周年記念式典の開催			
Ⅴ 心身の健康	目標	健康づくりの推進、安全・安心に生活できる学校の実現			生徒理解に基づいた適切な手立てで、将来に繋がらない中途退学者の減少		・いじめの未然防止・早期発見・早期対応[2件] ・生命に関わる重大事故の件数0件を継続 ・教育相談に関連する研修会6回[3回] ・ケース会議3回[3回] ・体育的行事参加者向上[新規]	
	方策	1 いじめ・体罰の根絶と思いやりの心を育成し、安心・安全に過ごせる学校生活 2 学校保健計画に基づき、生徒の健康の保持増進を図り、安全確保の徹底 3 環境美化を重視し生徒の自発的な清掃活動を推進し、学習環境の整備や保全 4 特別支援や日本語支援を必要とする生徒へのきめ細かな対応と指導の確立 5 「TOKYOACTIVE PLAN for students」に基づいた、生徒が豊かなスポーツライフを実現と意識の向上			①いじめの未然防止・早期発見・早期対応への組織的な体制確立 ②担任・SCとの教育相談体制を強化し、気になる生徒等への保護者連絡、家庭訪問、計画的な面談の実施 ③体罰の禁止及び根絶に向けた研修を実施。互いに確認する意識の啓発 ④体育的な学校行事の実施による、体力向上への意識の向上			

項 目		今年度の取組目標と方策	(1)教育活動の目標と方策	(2)重点目標と方策	(3)数値目標(昨年度実績)
Ⅵ 広報活動	目標	日常の教育活動の情報発信・教育方針の理解の促進		広報活動を改善し、地域から選ばれる学校として、応募倍率向上	
	方策	1 HPの充実やPR動画を制作し、本校の魅力や情報の発信力と学校案内の改善 2 生徒が主役となる発信方法を構築し、本校の日常の教育活動を効果的な発信 3 見学会・説明会・体験入学等を実施し、本校の特色及び各学科の特徴を説明 4 出前授業等や部活動体験を増加させ、中学校との連携・交流の一層の推進 5 母校訪問や中学校訪問、福祉科・体育科の積極的な説明会等の実施 6 地域住民の学習・スポーツ活動に貢献し、公開講座・施設開放事業の実施		①学校ホームページに関する研修、学校公式動画の活用で学校見学会・学校説明会の参加者の向上、学校パンフレットの改善 ②出前授業や中学校での学校説明会の実施など地域の中学校訪問の実施と内容の改善 ③地域から選ばれる学校への着実な変革を実現させ、入学選抜検査の応募倍率向上	・学校ホームページの更新回数 400回以上を継続[489回] ・学校見学会・学校説明会の来場者数 350人以上[335人](中学3年生のみ) ・推薦の応募倍率1.0倍を目指す[0.85倍] 学力検査の応募倍率1.0倍を目指す[0.49倍]
Ⅶ 学校経営・組織体制	目標	教職員の業務運営と学校経営への参画		信頼される学校の「組織・校風」づくり	
	方策	1 企画調整会議と分掌・学年会議、各委員会の組織的な運営 2 学校経営計画及び調査等に基づいた、各種規程の見直し 3 「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、業務の効率化と平準化 4 学校運営連絡協議会等、保護者や地域からの声に耳を傾けた学校運営 5 ICT機器を活用し、会議等の効率的運営と意思決定の迅速化 6 学校開放事業等により、地域に開かれた学校づくりを行い、本校の特色を周知		①企画調整会議と教科主任会を軸に連携を図り、各分掌組織の機能向上と学校課題や校内規定の改善 ②法規法令の遵守の意識を向上と服務事故の根絶 ③クリーンデスクを図り、机や使用施設の施錠を徹底 ④地域やPTA、同窓会等の関係機関と連携した防災訓練や共催事業による教育活動を充実を実施 ⑤会議の効率化等、必要最小限の超過勤務とし、ライフ・ワーク・バランスを推進及び年休取得とNO残業dayの励行	・服務事故0件を継続 ・月45時間以上の超過勤務 延べ100名以下・平均25h(自己研鑽を除く) [135名・平均29.0h] ・年間360時間以上の超過勤務15名[22名] ・年休取得率48.5%[新規] ・男性教職員の育児休業制度の活用を奨励
Ⅷ 学年	目標	基本的な生活習慣や主体的な活動、進路実現を勝ち取る生徒の育成		3年間を見通した継続的・計画的な指導を通した生徒の社会人としての育成	
	方策	1 社会人としての心構え(時間厳守・身嗜み・言葉遣い・ルールやマナーを守る)や美化意識を向上させる計画的な育成 2 生徒が主体的な学校行事や部活動等の参加による学校生活の充実 3 面談や進路ガイダンス等を活用し、実社会の現実と進路意識の啓発に努め、高い進路希望の実現を支援 4 生徒の探究活動やスキルアップ講習や検定等の積極的な挑戦を促進		①社会人としての心構えの定着と美化意識の向上 ②生徒に役割を与え、生徒が主体的に活動できる機会の創設 ③個人・三者面談等の情報を活用し、自覚を促す進路指導の充実 ④課題のある生徒・保護者のスクールカウンセラー活用 ⑤各種検定等、生徒が挑戦する意識を高揚させ自信を回復 ⑥課題のある生徒の関連分掌への早期相談・対応による未然防止	・年間遅刻者数5000人・25人/日以下 [5748人・28.9人/日] ・皆勤生徒数、各学年20名以上 [1学年16名、2学年12名、3年生12名] ・中途退学者20名以内[20]、転学者25名以内 [34] ・生徒や保護者の入学満足度80%以上[62%] ・一人1回以上の検定への挑戦と専科の資格 100%合格継続
Ⅸ 人材育成	目標	考查や授業評価等を通して、教科としての学習支援体制の充実と教科資料の共有化		何事にも主体的に取り組む生徒の育成に努めるとともに、社会の変化に的確に対応した学校改革を積極的に進め、	
	方策	1 授業・教材等、分析に基づく教科としての学習支援体制の充実 2 教材や課題プリント等の共有化 3 Society5.0時代を踏まえ ICT機器を活用した授業研究や教材開発 4 学校改革や学校マネジメント能力を向上 5 高い倫理観をもった教職員集団の醸成と法規法令の遵守 4 授業評価を活用した授業改善を推進し、組織的な学力の伸長と推移を検証		①生徒の学習状況調査を活用し、育てる能力の改訂と授業・教材・問題等の研究 ②補習補講の充実や教材の共有化 ③デジタル技術の活用力を高め、生徒端末の活用方法の工夫 ④若手教員の活躍の場として学校課題等のプロジェクトチーム設立 ④相互授業見学や若手の研究協議等による組織的な授業改善	・中堅教員を講師とした若手教員の研究協議会6回以上[3回] ・教育情報部主催のデジタル技術等の研修会実施5回以上[3回] ・プロジェクトチームによる学校課題検討・解決[新規] ・相互授業見学者85%以上(年5回/人)[81%]
Ⅹ 経営企画室	目標	行政系職員による業務運営と学校経営への参画		教職員と経営企画室との一体としての適切な学校運営	
	方策	1 学校経営計画に基づき、各分掌や各教科等と連携し、教育目標の達成に向けた具体的な取組や提言の促進 2 学校経営計画の実現に向けた適正かつ効果的な自律経営推進予算の編成・執行 3 施設設備の定期的な安全点検・安全管理及び迅速な修繕を徹底 4 地域住民を対象とした公開講座・施設開放事業の円滑な実施		①行政職員からの予算を意識した業務進行等や効率向上のための提言を促進 ②適正かつ効果的な自律経営推進予算の編成・執行 ③自律経営推進予算や学校徴収金、生徒会予算の円滑な運用 ④施設設備の安全点検・修繕・整備 ⑤行政系職員の超過勤務縮減の意識の向上	・一般需用費のセンター契約集約率 65.0%[62.3%] ・12月末までに次年度自律経営予算計画作成